

記載例

できあがりイメージ（提出いただいた応募用紙をこのレイアウトで紹介します）

分野：

キ 地域安全

(1) 該当する分野を選択してください

ア 健康・医療・福祉	キ 地域安全	ス 科学技術の振興
イ 社会教育の推進	ク 人権擁護・平和推進	セ 経済活動の活性化
ウ まちづくり	ケ 国際協力	ソ 職業能力開発・雇用機会
エ 文化・芸術・スポーツ	コ 男女共同参画の促進	タ 消費者の保護
オ 環境保全	カ 子どもの健全育成	チ 団体への助言・援助
カ 災害救援	シ 情報社会の発展拡充	

安心・安全に暮らせるまちづくり

(2) キャッチフレーズ

活動の概要

(3)

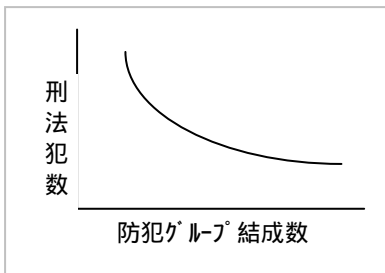
学校への登下校時や自宅近辺など、身近な生活の場で子どもが事件に巻き込まれることが全国的に多発しているため、私たちのまちも安全なものにしたいと町内の防犯パトロールや、小学生の登下校時の見守り活動を平成 年 月から始めました。

当初は保護者を中心に数人で始めたのですが、活動を見かけた人やご近所さんから加入の申し入れが相次ぎ、徐々にメンバーが増え、現在では約 100 人となっています。

(4)

成果

(これまでの活動の進展(変化)を含む)



地域の人だけでなく、市内、県外まで広く知られるようになり、活動内容も、防犯情報誌の発行、ホームページでの情報発信、講演会や安全指導教室への講師派遣など次々と拡大
メンバー間の信頼関係だけでなく、地域のつながりができた
町内の交通事故発生件数、窃盗などの刑法犯が大きく減少

課題

(5)

現在のメンバーは、時間的に余裕のある高年層が多くなっています。より多くの若い世代の人たちに活動に参加してもらえるよう働きかけたい。

夢・抱負

(6)

防犯は町内だけでなく完結するものではないので、防犯活動をするグループが広がり、それらが市内、県内でネットワークを組み、ゆくゆくは全県的、全国的に刑法犯等が減ることが理想です。

今後の推進方向

(7)

活動が広がった結果、メンバー 1 人ひとりが非常に忙しくなったことも事実です。このまま拡張路線を継続するのか、活動を絞って内容を濃くしていくのか等、推進方向をもう一度検討して進めていきたい。

(8)

団体名： 町住みよいまちをつくる会

代表者氏名（又は問い合わせに対応して下さる方の氏名）：

事務所の所在地：神戸市中央区下山手通 5 - 10 - 1

電話：078 - 362 - 4015

FAX：078 - 366 - 0167

E-mail：chiikikyodo@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/sankaku/

(9)

ノウハウ・コツ

(10) 該当する番号を選択してください。

人材養成	ネットづくり
活動資金	行政の活用
活動場所	組織運営
活動資源(物品等)	活動の展開
広報・情報共有	その他

人材養成

メンバーを適材適所に分ける

各メンバーの得意分野を最大限に生かせるようグループに分け、役割分担しています。例えば、会社勤務の若い人は、平日のパトロールへの参加は難しいですが、パソコンの得意な人が多いので、ホームページの作成や更新、会議資料の作成などを融通のきく時間に分担してやっています。

それをできる人ができる時にすることでメンバーは効率的に無理なく活動を続けられ、広い年齢層の参加を得ています。

写真を挿入
・活動場面

広報・情報共有

生きた情報発信が有効な情報呼び込む

毎朝、小学校の登下校の見守り活動が続けていることで、保護者などに活動が広く知られるなかで、地域の人が被害情報などを言ってきてくれたり、ホームページに書き込んでくれるようになりました。

それらを警察から届く防犯情報とともに安全ニュースとして速やかに発行する、自治会の回覧版にはさみこむ、ホームページに掲載するなどして町内のみなさんに注意を喚起しています。住民に役立つ情報発信がさらに情報呼び込むという好循環を招いています。

写真等を挿入
・「安全ニュースの」写真
・HPの画面

ネットづくり

分野や地域にこだわらずに交流を

他の団体や行政から声をかけられたら、積極的に出かけています。いろいろな団体と交流することで自分の役割の再認識、新たなノウハウの習得、出会った団体との共同事業への発展、取材を受けることでの活動PR効果など多くのメリットがあります。

また、パトロールを通じて得られた危険な交差点やパリアリーの必要な箇所の指摘など、防犯に限らず安全なまちづくり全般について提案できるので、地元の大学の研究会や市の総合計画策定時の参加要請にも積極的に応じています。防犯を核に活動に広がりが出ています。

(11) 伝えたいことを書いてください(複数可)。
・伝えたいメッセージ、裏ワザ
・よく活用する情報源や制度・助成金の名称
(実施する団体名も)

写真等を挿入
・交流イベントなど

ひとつことメッセージ

(例) 活動を始めてみてください。世界が広がるし、はまりますよ。

(例) ……の時には、……するとうまくいく場合があります。試してみてください。

(例) が募集する 助成金は、助成の対象範囲は広く、提出書類は少なく助成が受けやすいです。あまり知られていないようなので、穴場かもしれません。

(例) が発行するメルマガ「 」は、多くの人が見ています。いろんな情報が得られますし、お知らせ情報も載せてもらえます。

(例) NPO 法人 のホームページには、 分野に関する情報がたくさん掲載されています。

【自由に記載してください

別にコーナーを設けて記載します（団体名等は記載しません）】

コーナー A

失敗は成功の母コーナー

やみくもな情報発信はしんどいだけ

活動を始めた当初の頃、ミニ誌を大量に印刷して手当たり次第に配り、また、不慣れななか苦勞してホームページを作成しましたが、情報を届けたい先にはうまく届かず、最も内容を見てほしい高齢者の方にホームページを活用する人は少ないなど、手間と経費ばかりがかかって惨憺たる結果となってしまいました。

それ以降、どうすればよいのか試行錯誤を繰り返し、どこにどういう形で情報発信すれば効果が高くなるか、的を絞って取り組むようにしています。

コーナー B

悩みのコーナー

活動資金が減る一方です

複数の助成金申請を行い、活動資金確保に努めていますが、行政の財政も厳しいらしく、助成金額の少額化やその制度自体がなくなる場合が増えていきます。

メンバーが自ら資金を負担することも増えており、こういった状況が続くと、活動をやめたいと言い出すメンバーが出てくるのではないかと危惧しています。

自己資金を捻出できるしくみを考え出さなければとは思いますが、どのような方法があるのか検討もつかず、頭が痛いです。